# 第三夜「07-Café, Coffee Shop」

カフェやコーヒーショップの楽曲はとても沢山あります。アーティストが活躍する中で生まれた曲は、それぞれの時代を映す鏡や、心を包む記憶のようなもの。好きだった曲やアーティスト、コレ知っている!と身を乗り出したくなる曲の数々。

もしそこからコーヒーの芳しい香りや、カフェのざわめきが伝わってきたら、誰もがきっと優しい気持ちになるでしょう。忘れられない記憶や心が熱くなるような想いなど、どなたにも懐かしいシーンが、歌と共に瑞々しく蘇ります。

あなたにとっては、いつの時代の、どんな楽曲が心の支えだった のでしょうか。



# ・01-「コーヒー屋のおねえさん」 空気公団

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : <mark>その他のチャンネル</mark> )
1	コーヒー屋のおねえさん	空気公団	https://www.youtube.com/watch?v=oqv0FF8b_1w

空気公団 2010年のアルバム「ぼくらの空気公団」から「コーヒー屋のおねえさん」です。

空気公団は 1997 年結成のグループで、リーダーは山崎ゆかり。 感心するほどにコーヒーやカフェの楽曲が沢山あります。 この曲の歌詞は「寂しいときには ほら温かいコーヒーをどうぞ」と繰り返されるのですが、コーヒーが人を幸せにすることを信じているのでしょう。 こんなおねえさんのいるコーヒー屋が全国にあればいいなと本当に思います。 寂しいときだけでなく、辛いときや悲しいときにもご来店ください。 また楽しいときや嬉しいときにも、その喜びのお裾分けにご来店ください。

第二夜の「マスターの珈琲」を聴いて感動したのですが、「コーヒー屋のおねえさん」にも感心しました。

#### ・02-「曖昧なひとたち」 ポルノグラフティ

:5 ポルノグラフィティ https://www.youtube.com/watch?v=UijfDbhiqwU
--

2010 年のアルバム「∠TRIGGER」の「曖昧なひとたち」。曲名から受ける印象と曲の印象が異なる一例かも知れません。「行き先が決まってない」という曖昧さと、「3 杯目のホットコーヒー 地元の話も終わった」という緩い時間軸。せっかちにアクセクするひとたちの傍らで、曖昧なひとたちが愛を育み合っている。もしかしたら、歯車に捕らわれない生き方も有りかなと思います。この曖昧さに倣うならば、アルバムにひっそりと収録されているこういう曲の存在が、音楽の奥深さかも知れない。広くはなくても、ある人達には必ず届く曲。単に曲数合わせや時間合わせの曲ではない、アーティストの小さな挑戦を応援したいと思います。

#### ・03-「なみだ涙のカフェテラス」 ジューシー・フルーツ

3	なみだ涙のカフェテラス	ジューシイ・フルーツ	https://www.youtube.com/watch?v=D21i148ZoLQ
---	-------------	------------	---

アルバム発売 2 ケ月前の 1980 年 10 月 1 日に先行でシングルカットされた曲です。ヴォーカルの奥野敦子の高い声と可愛いらしい歌唱が魅力ですが、詩はここから始まります。「たぶんあたし 明るいタイプだと 思ってたのよ ふられるぐらいは ドラマみたいなもの」、だけど「(カフェで) とたんに思い出 にじんでゆくのがわかるわ」。そう心構えが助けにならないその時に、きっと心が痛むのでしょう。そしてこの言葉、「ドシャブリのあたしの 心の傷 このカフェテラス 思い出だらけ つぶれちゃえばいいのに … 」。それではカフェが辛過ぎます。

# ・04-「Hometown に帰りたい」 杉真理

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : <mark>その他のチャンネル</mark> )
4	Home Town に帰りたい	杉真理	

8 枚目で 1986 年のアルバム「SABRINA」からの曲です。「Home Town に帰りたい」、の Home Town は「君の住んでる My home town」と受け止めていいのでしょうが、とても良い街でしょうね。70 年代から 80 年代を彩るアーティストの一人ですが、それ以降もコンスタンスに活躍。明るい曲調が多く、いつも元気をもらいます。すこし異色ですが、「ウイスキーはお好きでしょう」(石川さゆり・竹内まりや 他)も彼の作曲です。

## ·05-「白い桜の雨」 LINDBERG

|--|

1988 年に結成されたロックバンドで、ヴォーカルが女性、ギター、ベース、ドラムスが男性の 4 人組です。活動は長く、途中解散しながらも 2009 年に再結成。力強いポップロックには聴き応えがあります。この曲は雨の叙情に包まれるようにしっとり聴こえます。ベストアルバムには未収録のようですが、「白い桜の雨」という曲名がとてもいい。「いつもの Café この窓から見える景色が 好きだった」はお互いにきっと同じだった筈。「思いだすのは ウソのない二人の笑顔だけ」ですから。

# **.**06-「LOOP」 SIRUP

LOOP SIRUP	https://www.youtube.com/watch?v=mHrjM6oVez0
------------	---

あまりラジオを流さない生活なので、全くノーマークのアーティストであり曲でした。SIRUP(シラップ)という名前ですが、2017年9月の配信シングルでデビューし、翌2018年5月の「LOOP」がセカンドシングルです。さらに同年8月に発売された2nd EP「SIRUP EP2」にも収められました。曲を聞くと声が気持ちよく、リズムも軽快。「今日もせっせとあのカフェまでWalking」で始まる歌詞は、「君が少しミルクを入れて混ぜる」指を眺め「君の小指のネイルだけにあるアートの意味を考えてしまう」。そんな気持ちを大切にして欲しいと思います。

## ∙07-「Until the rain stops」 Miyuu

he rain stops Miyuu https://www.youtube.com/watch?v=FTq_k_jgXII	,
---	---

大阪出身のシンガーソングライターで、デビューは 2015 年 8 月。デビューの契機がユーチューブのオーデションでの評価だったとか、今はこの道を辿ってデビューを目指す人も多いでしょう。

この曲「Until the rain stops」は2018年7月の第4弾シングルで、11月発売の1stミニアルバム「COME ONE, COME ALL」にも収められた代表曲とも言える一曲です。これからの活躍が楽しみです。

#### ·08- The Fourth Avenue Café」 L'Arc~en~Ciel

8	the Fourth Avenue Café	L'Arc~en~Ciel	https://www.youtube.com/watch?v=JskR-5GjV78
---	------------------------	---------------	---

1991 年に結成された日本を代表するロックバンドの一つです。多くのヒット曲がありますが、この曲「the Fourth Avenue Café」はグループの TOP10 に入るほどの人気曲です。美しいピアノからドラムに替わりながら始まるリズムと、ヴォーカルの歯切れ良い響きがとても良い。メンバーは出入りもありましたが、3 名はほぼ初期のメンバーという構成です。最大のヒット曲となった 1998 年の「HONEY」や「READY STEADY GO」は知る人も多いでしょう。

## ・09-「太陽のバカンス」 SHEENA & THE ROKKETS

9 太陽のバカンス SHEENA & THE ROKKETS <a href="https://www.youtube.com/watch?v=rcHxqEGNm6c">https://www.youtube.com/watch?v=rcHxqEGNm6c</a>	;
--	---

活動歴がとても長く、その間もブランクがないこと、メンバーが変わっていないことなど、驚くことの多いシーナ&ロケッツ。 この「太陽のバカンス」は2014年7月に発売された17thシングルで、同時期のアルバム「ROKKET RIDE」にも 収められています。歌詞を見ると究極のカフェが登場します。「ここはエデンのカフェテラス … 果汁タップリ裏メニュー」、その 通りに 街のカフェはエデンであり、オアシスであり、語らいの場です。

# ・10-「like coffee のおまじない」 UNISON SQUARE GARDEN

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル:その他のチャンネル )
10	Like Coffee のおまじない	UNISON SQUARE GARDEN	

2004 年に結成されたロックバンドで、シンプルな 3 人構成。この「like coffee のおまじない」は体が躍り上がりそうなリズムと、歯切れが良くて優しい声のヴォーカルが心地よい曲。2013 年のアルバム「SIDER ROAD」に収められています。歌詞では「黄昏カフェテラス … 」が登場し、少し開いて「like coffee の偶然の出会いと ミルク・シロップで、恋が始まるかも」。 恋の行方はおまじないのお告げ次第でしょうか?

# ・11-「唇からロマンチカ」 AAA

11	唇からロマンチカ	AAA	https://www.youtube.com/watch?v=5LAzkLfWIS4
----	----------	-----	---

AAA で思い出した曲は 2013 年に発売されたシングルで「恋音と雨空」でしょうか。8th アルバム「Eighth Wonder」の先行シングルとなったこの曲で大ブレーク。AAA として初めてオリコンのアルバムチャート 1 位を獲得し、以降のアルバムも 5 枚連続で 1 位に輝きました。それより前の 2007 年シングル「唇からロマンチカ」も、負けず劣らずの出来と考えているのですが、こうした優れた曲が「小粋な街角のカフェ」を舞台に誕生している、とても嬉しい思いがあります。聴いて楽しくなる素晴らしい曲です。

# ・12-「CAT WALK」 ダウト

12	CAT WALK	ダウト	https://www.youtube.com/watch?v=3hQu-z772Bg
----	----------	-----	---

2006 年結成のロックバンドで今年設立 15 周年を迎えるダウト。記念公演の矢先にメンバーのコロナ陽性がわかり、2 月 5,6 日の公演が延期されたとか。いつか顧みたとき、この時代の記憶になるかも知れないです。この曲は「猫になったらの話」で始まるのですが、実際に猫になりたいと思う人は多い筈。前世や後世でなく、現生としてもです。叶わないことですが、それほど猫が羨ましく見えるときがあります。我が家も猫屋敷同然ですから。猫は自らカフェに入ってコーヒーを頼むことはないでしょうが、客を癒すことは得意で、ネコカフェは繁盛しているようです。

#### ·13-「Your Song」 元山朋美

13	Your Song	元山朋美	https://www.youtube.com/watch?v=nooCLTRoFek
----	-----------	------	---

彼女は福岡の春日市出身とか。福岡は昔からシンガーソングライターを輩出していますが、義務教育が他県と違うのだろうかと思うほどです。音楽の時間が多いのか、音楽の先生に恵まれているのか、誰か教えてください。「Your Song」は2021年8月28日配信のシングルで、歌詞は「カフェテラスで流れたのは 君がよく口ずさんでた Love Song」から始まります。「イントロが始まるだけで 心のステップが弾み出す」のは好きな楽曲に共有のリアクション。だから音楽は楽しいし、聞き続けたいと思います。とても元気でとにかく楽しい曲です。

# ·14-「SOUL MUSIC」 PHONES

14	SOUL MUSIC	PHONES	https://www.youtube.com/watch?v=GeF5DztB38s

PHONE は 2003 年にメジャーデビューしたロックバンドですが、2007 年 7 月には活動を休止しています。以後活動

は再開してないようです。1st フルアルバムの「漂流 SOUL」に収められたこの「SOUL MUSIC」は、「街角の Café 君が運ぶ Coffee 魅惑の香り」から始まります。待ってました!と叫びたくなるような言葉に嬉しくなります。歯切れのよい 演奏とヴォーカルの弾むような声が気持ちよく重なります。もし結成 20 年や 30 年を経ていたら、どんな魅力的なバンドに なったのでしょうか。 しかし自らの意志で決めていること。 それぞれが今のフィールドで頑張っていると思うのです。

# ・15-「シナモンティー」 上野優華

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : その他のチャンネル )
15	シナモンティー 上野優華		https://www.youtube.com/watch?v=9rsXVwuHgDE

徳島市出身の彼女ですが、2013 年 7 月のデビュー時は 15 才。今回の楽曲「シナモンティー」は 2016 年 1 月発売の 1st アルバム「U colorful」に納められたので、2 月生まれの彼女はその時 17 才。歌詞には「卒業しても ずっと一緒だよって 駅前のカフェテラス 君の好きなシナモンティー 制服姿の横顔」同年代ですから気持ちも重なりますね。その時は 18 歳だと思うのですが、堂々たる歌唱には驚きました。これからが楽しみです。

# ·16-「Fall in Love」 Lead

16	Fall in Love	Lead	https://www.youtube.com/watch?v=_F-hdZbU9Js
----	--------------	------	---

ダンスヴォーカルユニットの Lead、パワフルです。活動歴は長く、4 人構成になった 2002 年 6 月から既に 20 年。 Lead として歌やダンスだけでなく、個々にドラマや舞台にと広く活動しています。今回の「Fall in Love」は 2008 年のアルバム「Feel The Vibes」の曲で明るいダンスミュージック。 歌詞は「一人何気なく立ち止まった coffee shop」 から始まります。 ここからドラマが始まることも多いのです。 人生に欠かせないものの一つはカフェやコーヒーショップです。

# ・17-「シトラス」 菅原圭

原圭 https://www.youtube.com/watch?v=K-8KurA4SPE
--

2019 年から YouTube 動画の公開を始め、翌 2020 年 11 月に初の配信シングルをリリースした菅原圭。こうした アプローチのアーティストが多い中で、大変順調なスタートです。この「シトラス」は 2021 年 10 月に公開された配信シングル。彼女の詩は時として難解とも思える比喩が登場しますが、心に浮かぶ言葉のままに詩ができたのでしょう。「計量 カップで見たくない この気持ちは 帰りに漂う香りのよう 駅前 君の選んだコーヒー屋が うやむやの正体見たい胸を濁している」。 いかがですか。

#### 18-「Café de Bossa」シド

17	Café de Bosa	シド	https://www.youtube.com/watch?v=ybRWBmivSKE
----	--------------	----	---

2003 年に結成されたロックバンドで、2004 年から現在のメンバー4 人で活動しているシド。優れたヴォーカルの mao を中心としたグループで、ほとんどの作詞は mao が担当しています。作曲はバンドメンバーがそれぞれに特徴を生かした曲作りをしているのですが、mao の甘くてやや高い声のヴォーカルが気持ち良く耳に届きます。「Café de Bossa」は 2012 年のアルバム「M & W」に収録された、軽快なリズムのとても楽しい曲です。「小さなカフェに 迷い込んだ 雨の日のせいさ」、もちろん雨宿り、大歓迎です。

#### ・19-「海辺のカフェテラス」 松田聖子

19   海辺のカフェテラス   松田聖子   https://www.youtube.com/watch?v=-4MA0icoCpY	19	海辺のカフェテラス	松田聖子	https://www.youtube.com/watch?v=-4MA0jcoCpY
---	----	-----------	------	---

何処までも明るく飛び跳ねそうな松田聖子の曲です。この曲は 1993 年のアルバム「Diamond Expression」に 収録後、2 枚組ベストアルバム「Bible II」にも収録された人気曲です。自ら作詞・作曲も手掛けています。

歌詞の最後は「思い出のこのカフェで あなたとの人生 はじめられるならば しあわせ」と歌います。多くの出会いと別れがあり、心までも季節の色合いに染まりゆく人生。是非このカフェで幸せをつかんで欲しいと願います。

#### ・20-「コーヒーショップの女の娘」 藤井フミヤ

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : その他のチャンネル )
20	コーヒー・ショップの女の娘	藤井フミヤ	

「MY CAROL」は 2003 年 3 月に発売されたキャロルのカバーアルバムで、全曲を矢沢永吉が作曲。この「コーヒーショップの女の娘」の作詞は大倉洋一(ジョニー大倉)です。バラード調の曲には藤井フミヤの声が良く似合います。憧れのキャロルの曲ですが、こうした丁寧な歌唱はさすがの藤井ワールド。一部の曲では、歌い方や声質がジョニー大倉に似ているようで驚きました。素敵な Coffee Shop で待つことの幸せを、さりげなく教えてくれています。

## ・21-「悲しみがとまらない」 杏里

1 悲しみがとまらない
-------------

14th シングルの「悲しみがとまらない」は 1993 年 11 月発売の杏里の代表曲の一つ。今回はベストアルバムの「ANRI the BEST」(2000 年)から選曲しました。カフェの楽曲を集める中でこの「悲しみがとまらない」に出会ったとき、少し興奮を覚えました。あった!と。余りにも有名な曲で、40 代以上なら多くの方がご存じで、まさに杏里の鉄板ソングです。歌詞には「ふたりはシンパシィ 感じてた 昼下がりのカフェテラス」とあります。今聴いていても良い曲です。

# ·22-「Café Blue」杉山清貴

22	Café Blue	杉山清貴	
----	-----------	------	--

1983 年に杉山清貴とオメガトライブとしてデビュー。多くのヒット曲を出しながら 1985 年に解散、翌年 5 月にソロ活動を開始しています。この「Café Blue」は 2010 年のミニアルバム「Island afternoon II」に収められた曲で、 "涙そうそう"や"イラヨイ月夜浜"など、沖縄歌謡の曲も収録されています。 歌詞には「賑わっていたあのカフェは 今は違う店に」とあるのですが、時間の移ろいは止められない。 明日を信じて進むために、「移り行くすべても 真実なんだ」との受け止め方があるかも知れない。 心の持ちようになりますが。

# 今回の楽曲一覧です → https://www.cafegoods.com/musiclist/03\_musiclist\_07.pdf

前夜となる「コーヒーを謳う」でも書きましたように、アーティスト名・作詞者名・作曲者名の敬称は省かせていただきました。失礼をお詫び申し上げます。

また、記載した情報は Wikipedia や YouTube チャンネルの他、各アーティスト・音楽事務所・関連会社のホームページなどを参照させていただきました。 改めて各位に御礼申し上げます。

APPLE MUSIC にプレイリストがありますのでご鑑賞ください。"Café, Coffee Shop"で検索いただければ、美男のベートーベンが下のほうでお待ちしております。何らかの原因でアクセスできない際はご容赦ください。

尚、ご意見やご指摘、ご感想などがございましたら、下記メールアドレスまでいただければ幸いです。

ongakushitsu@cafegoods.com

© 2022.04 Cafegoods co.,ltd. 小林 文夫